

平成16年9月1日
農林水産省 生産局

第1回養豚問題懇談会の概要について

下記のとおり、第1回養豚問題懇談会が開催されました。

記

1. 日時

平成16年8月31日(火) 13:30～16:30

2. 場所

東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省本館4階第2特別会議室

3. 出席者

委員：別紙[PDF]のとおり

4. 議事概要

懇談会の座長に信國委員が選出され、事務局より配付資料の説明が行われた後、意見交換が行われました。委員からの主な発言は以下のとおりでした。

(経営・環境関係)

- 中小規模農家については、高齢化の進行、施設の老朽化、環境対策への対応等から廃業する農家が増えるとみられるが、業界の存続のためには、一定数以上の農家の維持が重要であり、こうした農家を政策的にどう支援していくかの検討が必要。
- 中小規模の農家存続のため、設備更新に係る助成を検討すべき。
- 養豚に対する支援として、地域肉豚生産安定基金造成事業、地域養豚振興特別対策事業、養豚振興体制整備総合対策事業は特に重要であり、今後とも継続をお願いしたい。
- 国内養豚の振興のためには、協業化、グループ化等により、安定した生産・供給体制を構築することが重要。
- 環境対策等について、発酵床豚舎、汚水浄化処理のための大きな施設を必要としない対策、耕畜連携等も重要であり、そうした取り組み支援の施策を考えるべき。
- 農協は、これまで地域の生産の核となる取り組みが少なかったが、地産地消がさげられる中、地域の中での役割をもう一度見直すべき。

(生産コスト関係)

- 生産コストの低減のためには、飼料原料輸入の際の港湾諸掛り、と畜料金の低減や、と畜検査料、建築基準法、ワクチン認可等に関する規制緩和等の努力が必要。
- 流通コストの低減のためには、と畜場の統合、稼働率の向上等が重要。また、安全安心の観点から食肉センターを通じた食肉の流通が増加するのではないか。

(食育関係)

- 現在の消費者は、畜産の生産現場との関わりが希薄になってきており、こうした

消費者の理解を進めないと、養豚の地域との共存が図れないばかりか後継者も育たない。

- 小中学生の農業体験学習だけでなく、父兄も含めた交流・情報提供が重要であり、このような視点での支援が必要。

（表示・トレサ関係）

- 国産豚肉の仕向けとしてはテーブルミートが主体であるが、国産の需要を伸ばすには、外食、加工向け需要に対応していくことが必要。
- 消費者に安全・安心で美味しいものを供給することが重要であるが、流通サイドにおける食肉偽装の防止の強化が必要。
- 量販店、外食産業等において、最近では、トレーサビリティできる（生産から流通間での過程がしっかり説明できる）ものを求める傾向が強い。
- トレーサビリティの実施に要するコストをどこで負担するのか整理する必要（生産者にしわ寄せされるのではコストアップとなる）。
- 食肉偽装、トレーサビリティへの対応等の観点から、消費者等の理解も得ながら、ロースなどの特定部位だけでなく1頭全体のセット流通を進めることも重要。

（飼料・衛生等）

- 今後、食品残さの乾燥製品飼料の生産増加が予想されるが、小規模なものがほとんどであり、その普及のためには、地域におけるストックポイントの設置、配合飼料メーカーサイドの配合割合等の検討が必要ではないか。また、利用可能な素材の情報提供も有効。
- 南九州等で豚の生産性が落ちているとの情報があり、生産現場やと畜場におけるサーベイランスの実施により疾病の浸潤状況等を把握する等の対策が必要。そのためには、生産者と家保の更なる連携対応が重要。
- 我が国では、内臓肉の評価が安すぎる。今後、適正に評価することが必要。
- 我が国独自の消費者ニーズに対応していくためには、国内の育種資源である純粋種の確保をしっかりと行う必要あり。

問い合わせ先

生産局 畜産部 畜産振興課
山本、蛸名、武久

TEL 03-3502-8111（内線3915、3916）
03-3501-3777（直通）

養豚問題懇談会委員名簿

(五十音順・敬称略)

阿部	亮	日本大学生物資源科学部教授
伊藤	四朗	(株)伊藤ハム執行役員(ミートディビジョン国内食肉担当)
神山	和義	日本生活協同組合連合会生鮮部畜産グループマネージャー
木村	敬	全国農業協同組合連合会中央畜産センター場長
瀬瀬	雄三	明治大学農学部教授
小西	靖子	消費科学連合会企画委員
志澤	勝	(社)全国養豚協会副会長、全国養豚経営者会議会長
神保	雅弘	(株)三菱商事レッドミート及びホワイトミートユニットマネージャー
信國	卓史	地方競馬全国協会理事
橋口	康則	鹿児島県黒豚生産者協議会副会長
堀江	光洋	(社)日本種豚登録協会理事
松田	政久	(協)日本飼料工業会、((株)日清丸紅飼料取締役)
矢入	一典	全国畜産農業協同組合連合会総務部長

(伊東 依久子(消費科学連合会副会長)代理)